

空調設備更新工事 見積比較表（A案・B案・C案）

共通条件：室内機6台・室外機2台の入替／消費税10%。金額は円。項目行は税抜、税込合計のみ税込。青字は各見積書PDFから転記した値。

項目	A案	B案	C案
機器	1,800,000	2,300,000	1,800,000
配管	200,000	600,000	600,000
工事費	1,300,000	1,300,000	1,400,000
諸経費	300,000	300,000	300,000
値引き	-100,000	-300,000	-300,000
税込合計	3,850,000	4,620,000	4,180,000
工期	10日	10日	10日
条件	標準機／既存配管を流用／日中工事	省エネ機／配管も更新／日中工事	標準機／配管更新／夜間工事

最安案と最高案の比較

最安案	A案
最安案の税込合計	3,850,000
最高案	B案
最高案の税込合計	4,620,000
差額（税込）	770,000

差の理由（最高案－最安案、項目別・税抜）

項目	差額（税抜）	理由
機器	500,000	最高案は省エネ機、最安案は標準機（機器グレードの違い）。
配管	400,000	最高案は冷媒配管を更新（新設・既存撤去）、最安案は既存配管を流用（接続部調整・気密確認のみ）。
工事費	0	差なし。ともに日中工事で同額。
諸経費	0	差なし。ともに運搬費・廃材処分費・現場管理費等。
値引き	-200,000	最高案の値引きが最安案より大きく、差額を縮める方向に働く。
税抜差額の合計	700,000	最高案・最安案の組合せは上の式で自動判定。理由欄の文章は、現在の組合せ（最安A案・最高B案）に対する説明です。
消費税率	10%	
消費税の差額	70,000	
税込差額（理由の積み上げ）	770,000	
税込差額（上の差額との照合）	一致	

検算欄

① 金額の取得元（各見積書PDFの行）

項目	取得元（A案・B案・C案とも同じ位置）
機器	明細表「機器」行の「金額（円）」列
配管	明細表「配管」行の「金額（円）」列
工事費	明細表「工事費」行の「金額（円）」列
諸経費	明細表「諸経費」行の「金額（円）」列
値引き	明細表「値引き」行の「金額（円）」列（マイナス表示）
税込合計	明細表下「税込合計」行の金額
工期	上部「工期」行
条件	件名行、工事費行の「内容」（日中／夜間）、配管行の「内容」、機器行の「内容」（標準機／省エネ機）、備考欄

② 整合チェック（PDFの別の行と突き合わせ）

確認項目	A案	B案	C案	取得元／判定
明細5行の合計（比較表から計算）	3,500,000	4,200,000	3,800,000	計算値（比較表の機器～値引き）
PDF「小計（税抜）」行	3,500,000	4,200,000	3,800,000	PDF「小計（税抜）」行の金額
PDF「消費税（10%）」行	350,000	420,000	380,000	PDF「消費税（10%）」行の金額
PDF冒頭「御見積金額（税込）」	3,850,000	4,620,000	4,180,000	PDF上部「御見積金額（税込）」
判定1：明細合計＝PDF小計	一致	一致	一致	全案一致
判定2：小計＋消費税＝比較表の税込合計	一致	一致	一致	全案一致
判定3：比較表の税込合計＝冒頭の御見積金額	一致	一致	一致	全案一致